

中小のEC活用支援

大垣西濃信金などセミナー

大垣西濃信用金庫と中小企業基盤整備機構は15日、EC(電子商取引)活用セミナーとワークショップを大垣市恵比寿町の同金庫で開き、中小事業者らがネットショップ開設の準備から実践的な活用方法までを学んだ。

インターネット販売のメリットやトレンド、モール型と自社サイトの特徴、出店前にすべき準備、集客方法などを細やかに解説。「自社の強みと商品特性を理解し、売りやすい場を選ぶ。そしてオンラインワンの店をどう作るか」などと語った。

参加者はグループごとに自社製品の強み、弱み、可能性などを互いに披露し「自社サイトを開いたけど、ただあるだけ」「商社を介さず自社で売りたい」などとECへの思いを語り合った。ウィズコロナ時代の販路開拓として、20兆円規模といわれるEC市場に参入してもらおうと中小事業者向けに開催。信金中央金庫による販路開拓の支援メニューの紹介もあった。

同機構の中小企業アドバイザーでECマインド(東京都立川市)社長の高杉透さんが講師を務め、インタ



EC活用に向けて自社の強みや弱みを話し合う参加者たち
＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫